

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 いであ株式会社

コード番号 9768 URL <http://ideacon.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 田畑 日出男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 市川 光昭

TEL 03-4544-7600

四半期報告書提出予定日 平成26年11月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	13,850	6.8	2,389	48.7	2,395	58.5	1,890	73.3
25年12月期第3四半期	12,971	9.4	1,606	46.9	1,511	37.0	1,091	10.2

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 1,916百万円 (55.7%) 25年12月期第3四半期 1,231百万円 (21.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	264.84	—
25年12月期第3四半期	152.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	21,370	13,281	62.1	1,860.09
25年12月期	20,955	11,460	54.7	1,605.05

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 13,280百万円 25年12月期 11,460百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	—	—	15.00	15.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成25年12月期 期末配当金の内訳 普通配当 12円50銭 記念配当 2円50銭

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,700	6.3	1,900	36.0	1,900	44.3	1,600	65.8	224.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期3Q	7,499,025 株	25年12月期	7,499,025 株
26年12月期3Q	359,111 株	25年12月期	358,919 株
26年12月期3Q	7,139,983 株	25年12月期3Q	7,140,193 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。ただし、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策、金融政策などの効果を背景とする企業収益の改善が、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加につながり、緩やかな回復基調が続きました。一方、景気の先行きは、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化や海外経済の減速の懸念などにより、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く市場環境は、平成25年度補正予算と平成26年度予算において、当社グループの強みが活かせる事業が多く含まれる東日本大震災からの復旧・復興、社会資本の強靱化・老朽化対策、防災・減災対策などに重点配分されていることから、堅調に推移しております。

このような状況の中、より一層の安定的な経営を行うためには、組織の一体化・効率化とガバナンスを一層強化し、優秀な人材の確保と技術の総合化・多様化・差別化により、社会ニーズや社会構造の変化にマッチした組織構造・事業構造・事業領域への転換を図ることにより、当社独自のビジネスモデルを構築することが必要と考えます。

当社グループは、平成25年から平成27年までの中期経営ビジョンにおいて、「イノベーションによる技術革新・市場創生と経営の効率化」を掲げ、特に①これまでの技術開発の成果をもとにした市場創生・新規事業の展開、②グローバル人材の育成、③コーポレートガバナンスの強化の3つの重要な経営課題に取り組むことにより、強い経営基盤の構築と安定的な成長を目指しております。

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、受注高145億4千万円（前年同四半期比12.5%増）、売上高は138億5千万円（前年同四半期比6.8%増）となり、通期予想売上高167億円の82.9%を計上いたしました。

売上高の増加及び徹底した工程管理による売上原価率の低減により、当第3四半期連結累計期間の営業利益は23億8千9百万円（前年同四半期比48.7%増）、経常利益は23億9千5百万円（前年同四半期比58.5%増）、更に特別利益として固定資産売却益を計上したことにより、四半期純利益は18億9千万円（前年同四半期比73.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメント間取引を含んでおります。）

(環境コンサルタント事業)

同事業は、当社及び連結子会社4社(新日本環境調査株、沖縄環境調査株、東和環境科学株、以天安(北京)科技有限公司)が行っている事業であり、環境アセスメント及び環境計画部門、環境生物部門、数値解析部門、調査部門、環境化学部門、気象・沿岸部門の6部門より構成されております。

売上高は80億6千3百万円（前年同四半期比1.4%減）、セグメント利益は11億1千9百万円（前年同四半期比74.2%増）となりました。

(建設コンサルタント事業)

同事業は、河川部門、水工部門、道路部門、橋梁部門の4部門より構成されております。

売上高は54億7百万円（前年同四半期比22.3%増）、セグメント利益は11億4千7百万円（前年同四半期比32.4%増）となりました。

(情報システム事業)

同事業は、システム開発及び画像解析等の事業を行っております。

売上高は3億8千1百万円（前年同四半期比11.2%増）、セグメント利益は4千3百万円（前年同四半期比152.8%増）となりました。

(不動産事業)

同事業は、赤坂のオフィスビル、旧本社ビル等の不動産賃貸事業を行っております。

売上高は1億3千1百万円（前年同四半期比 4.4%減）、セグメント利益は7千8百万円（前年同四半期比 2.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比べ4億1千5百万円増加し、213億7千万円となりました。

流動資産につきましては、主に現金及び預金の減少1千9百万円、受取手形及び営業未収入金の減少3億4千2百万円、仕掛品の減少4億4千2百万円により、前連結会計年度末に比べ6億7千6百万円減少し、64億4千3百万円となりました。

固定資産につきましては、主に建物の増加1億2千2百万円、土地の増加7億1千3百万円、有形固定資産その他の増加2億8千1百万円により、前連結会計年度末に比べ10億9千1百万円増加し、149億2千6百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比べ14億6百万円減少し、80億8千8百万円となりました。

流動負債につきましては、主に支払手形及び営業未払金の減少1億5千9百万円、短期借入金の減少20億8千3百万円、未払法人税等の増加8億2千6百万円、賞与引当金の増加2億7千7百万円により、前連結会計年度末に比べ12億6千5百万円減少し47億6千7百万円となりました。

固定負債につきましては、主に社債の減少6千5百万円、長期借入金の減少9千万円、退職給付引当金の減少1億3千9百万円により、前連結会計年度末に比べ1億4千1百万円減少し、33億2千1百万円となりました。

(純資産)

純資産につきましては、主に利益剰余金の増加17億8千3百万円により、前連結会計年度末に比べ18億2千1百万円増加し、132億8千1百万円となりました。

企業の安定性を示す自己資本比率は、当四半期連結会計期間末は 62.1%であり、また、支払能力を示す流動比率は 135.2%であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、本日、別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、重要性が増した以天安（北京）科技有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	853,793	834,218
受取手形及び営業未収入金	1,319,401	976,579
有価証券	1,832	2,455
仕掛品	4,611,339	4,168,553
貯蔵品	22,630	26,584
繰延税金資産	140,246	281,503
その他	183,413	166,215
貸倒引当金	△12,911	△12,590
流動資産合計	7,119,747	6,443,518
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,493,958	4,616,684
土地	6,910,952	7,624,755
その他(純額)	562,438	844,140
有形固定資産合計	11,967,349	13,085,580
無形固定資産		
投資その他の資産	84,802	74,090
投資有価証券	862,204	892,391
繰延税金資産	4,969	5,509
その他	934,238	884,559
貸倒引当金	△17,995	△15,285
投資その他の資産合計	1,783,415	1,767,174
固定資産合計	13,835,567	14,926,845
資産合計	20,955,314	21,370,364
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	685,576	526,504
短期借入金	2,731,808	648,228
1年内償還予定の社債	343,000	165,000
未払法人税等	388,356	1,214,388
賞与引当金	71,193	348,970
受注損失引当金	27,732	26,643
その他	1,784,686	1,837,474
流動負債合計	6,032,352	4,767,208
固定負債		
社債	340,000	275,000
長期借入金	130,651	40,375
繰延税金負債	51,343	100,924
退職給付引当金	2,552,622	2,413,529
役員退職慰労引当金	232,609	249,252
その他	155,531	242,502
固定負債合計	3,462,757	3,321,583
負債合計	9,495,110	8,088,791

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,173,236	3,173,236
資本剰余金	3,352,573	3,352,573
利益剰余金	4,842,297	6,625,733
自己株式	△139,037	△139,252
株主資本合計	11,229,069	13,012,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216,965	240,745
為替換算調整勘定	14,168	27,816
その他の包括利益累計額合計	231,134	268,561
少数株主持分	—	720
純資産合計	11,460,204	13,281,572
負債純資産合計	20,955,314	21,370,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	12,971,074	13,850,650
売上原価	8,971,036	8,937,884
売上総利益	4,000,038	4,912,766
販売費及び一般管理費	2,393,196	2,523,333
営業利益	1,606,842	2,389,432
営業外収益		
受取利息	6,180	9,076
受取配当金	4,907	5,400
受取保険金及び配当金	2,517	24,543
保険解約返戻金	5,621	675
その他	18,107	12,946
営業外収益合計	37,334	52,642
営業外費用		
支払利息	113,692	16,042
持分法による投資損失	7,101	7,330
損害賠償金	—	15,658
その他	11,757	7,160
営業外費用合計	132,550	46,192
経常利益	1,511,626	2,395,883
特別利益		
固定資産売却益	—	758,343
関係会社株式売却益	—	257
債務免除益	227,284	—
特別利益合計	227,284	758,601
税金等調整前四半期純利益	1,738,910	3,154,485
法人税、住民税及び事業税	588,664	1,372,935
法人税等調整額	59,240	△109,310
法人税等合計	647,905	1,263,625
少数株主損益調整前四半期純利益	1,091,005	1,890,860
少数株主損失(△)	—	△122
四半期純利益	1,091,005	1,890,982

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,091,005	1,890,860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	132,394	23,779
為替換算調整勘定	7,837	2,265
持分法適用会社に対する持分相当額	—	14
その他の包括利益合計	140,232	26,059
四半期包括利益	1,231,237	1,916,919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,231,237	1,916,883
少数株主に係る四半期包括利益	—	36

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境コン サルタン ト事業	建設コン サルタン ト事業	情報システ ム事業	不動産 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,114,399	4,421,473	342,497	92,704	12,971,074	—	12,971,074
セグメント間の内部 売上高又は振替高	63,497	—	—	44,451	107,949	△107,949	—
計	8,177,897	4,421,473	342,497	137,155	13,079,024	△107,949	12,971,074
セグメント利益	642,904	866,569	17,193	80,142	1,606,811	30	1,606,842

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	環境コン サルタン ト事業	建設コン サルタン ト事業	情報システ ム事業	不動産 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,975,146	5,407,797	381,011	86,695	13,850,650	—	13,850,650
セグメント間の内部 売上高又は振替高	87,855	—	—	44,451	132,306	△132,306	—
計	8,063,002	5,407,797	381,011	131,146	13,982,957	△132,306	13,850,650
セグメント利益	1,119,999	1,147,695	43,464	78,274	2,389,432	—	2,389,432

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。